

次世代育成支援(子育て支援)行動計画の取り組み状況及び事業実績書

支援事業名					
表	支援事業の内容	平成 28 年度の取り組み の状況及び事業実績	達 成 度	評価	担 当 課
防犯啓発活動					
2 8	くらし安全安心指導嘱託員を配置し、青色回転等付防犯パトロール車による防犯パトロールの実施や専門指導員による子どもを対象とした防犯教育の実施に努めます。	月曜日～金曜日の平日に、市嘱託員(くらし安全安心指導嘱託員)が市内パトロールを実施した。	4	防犯パトロールについては、今後も実施回数等の充実に努める。	市 民 協 働 課
防犯灯の設置・管理					
2 8	犯罪抑止の観点から防犯灯の設置・維持管理を行っており、夜間の交通安全と防犯に努めます。	LED防犯灯92基を新設した。既設防犯灯の修理及び修繕を122件実施した。	4	今後も効率的な防犯灯の新設・管理の充実に努める。	市 民 協 働 課
子どもの交通安全教育					
2 9	小学校等において、交通安全教室や自転車乗り方教室を実施し、子ども自身の交通安全意識の高まりに努めます。	市内の幼稚園・保育園での交通安全教室を20回実施した。(参加幼児1, 846名) 市内全11校の小学4年生に対し、自転車乗り方教室を実施した。(参加児童1, 056名)	4	交通安全教室等を通じ、交通安全意識の高揚と事故防止を図るため、今後も事業展開に努める。	市 民 協 働 課
学童交通安全指導員の配置					
2 9	通学路に学童交通安全指導員を配置し、子どもの交通安全指導等に努めます。	学童交通安全指導員(8名)により、登下校時の児童・生徒の交通安全の指導を行った。	4	今後も学童交通安全指導員による交通安全指導等を行うことにより、子ども・歩行者の安全の確保と交通安全意識の高揚を図る。	市 民 協 働 課

小児医療費助成制度					
2 7	小児の健康の増進に資する事を目的に、小児にかかる医療費の一部を助成し、その健全な育成支援を図ります。	受給者数:11,606 人 (平成 29 年 3 月末現在)	4	小児の健康の増進、健全な育成に有効。 平成 26 年 10 月から対象年齢を小学校 6 年生までに拡大。	医療課
児童相談					
2 4	親の抱える育児上の疑問・不安・心配事に対し、専門相談員を配置し、適切に相談に応じ、関係機関と対応していきます。	平成 28 年度相談件数 218 件 (昨年度より-61 件)	4	相談件数は、昨年度と比較して、61 件減少している。 研修等を通して相談員の質の向上を図り体制強化に努めた。	子ども政策課
座間市要保護児童対策地域協議会					
3 1	関係者・関係機関による座間市要保護児童対策地域協議会を開催し、必要な支援のための連絡調整を行い、児童虐待の防止と迅速な対応に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議、実務者会議を開催し、児童虐待の防止と迅速な対応に努めた。 ・個別ケース検討会議を随時開催し、児童虐待の迅速な対応に努めた。 ・児童虐待防止月間に啓発物品を配布した。 ・児童虐待防止啓発講演会を開催した。 	4	座間市要保護児童対策地域協議会の事務局として、関係機関との連携の重要性を共通認識とし、関係機関と共に、児童虐待等の対応に努めた。	子ども政策課
母子家庭等自立支援給付金事業の推進(平成28年度から名称変更)					
3 2	母子家庭等自立支援教育訓練給付金、母子家庭等自立支援高等職業訓練促進給付金の給付により、雇用の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進給付金 (正看護師)4 件 (保育士) 1 件 	5	給付金の支給により、生活の経済的負担を軽減し、安定した就業環境が提供できた。	子ども育成課

母子家庭等日常生活支援事業の推進(平成28年度から名称変更)					
3 2	疾病や就労支援のために、一時的に生活援助や保育サービスが必要な家庭に対し、家庭生活支援員を派遣します。	・派遣回数 6回	4	支援員の派遣により、ひとり親家庭の生活安定に寄与できた。	子ども育成課
母子父子自立支援員による相談					
3 2	他の関係機関と連携しながら、子育てや生活、就労などのさまざまな分野の総合窓口として相談に対応します。	・母子家庭 1,221 件 ・父子家庭 38 件	5	ひとり親家庭が抱える問題に対し、個々の状況に応じて、問題解決に必要な情報提供や助言を行った。	子ども育成課
休日保育事業					
2 6	日曜日や祝日も勤務する保護者のための「休日保育」の充実を目指します。	市内1園で実施 年間利用者数 361 名	5	休日保育を実施することで、休日保育を必要とする子育て世帯の支援を図ることができた。	保育課
街頭補導活動					
3 0	青少年の非行防止のため、専門補導員による毎日の街頭パトロールや青少年補導員の地区街頭パトロール等を実施します。また、子どもの健全な成長を支えるため街頭キャンペーンを実施します。	青少年専門補導員および青少年補導員による街頭パトロールを計541回実施し、63件の補導、733件の声かけを行った。 市民ふるさとまつりでの街頭キャンペーンでは非行防止啓発パンフレットおよびクリアファイルを2,000部配布した。	4	夏休み期間や中学校卒業式など必要に応じてパトロールを強化して実施することができた。 非行防止啓発キャンペーンについては引き続き、危険ドラッグやSNSのトラブルなど、少年をとりまく現在の社会環境を反映させたパンフレットを作成していく必要がある。	青少年課

こども 110 番の家					
30	不審者からの声かけ、わいせつ、つきまとい、ちかん行為などから子どもを守る緊急避難場所として「こども 110 番の家」を充実し、子どもが被害者となる犯罪の防止に努めます。	広報や市 HP にて、こども 110 番の家について周知を図りながら、青少年健全育成連絡協議会の会議等で各地区の現状について情報交換を各年 2 回行った。	4	登録件数についてはやや増加傾向にある。今後も関係団体との連絡を密にし、劣化破損した看板の交換など、継続的に取り組む必要がある。	青少年課
青少年センター活動事業					
25	青少年センターを活動拠点として、小中学生を対象にした短期教室・講座の開催、青少年フェスティバルの開催等、青少年の健全育成の充実に努めます。	青少年センター自主講座：計 23 講座、718 人参加。青少年センターフェスティバルについては、8 月に開催し、のべ 3,830 人参加。	4	講座については、青少年を対象に様々な企画を実施することができ、多くの参加があった。フェスティバルについては、青少年センターを利用する団体と連携し、青少年との交流を図るとともに、活発な事業を実施することができた。	青少年課
協力団体の支援					
25	青少年が地域と共に活動できるように、地域の協力団体の活動を支援します。	子ども会育成会；全体会、役員会、理事会、各部会等延べ 34 回 青少年指導員協議会；全体会、三役会、役員会、研修会、各部会等延べ 27 回 青少年補導員協議会；全体会、三役会、役員会、研修会等延べ 17 回	4	地域ごとに抱える問題が異なるため、相互の連絡を密にし、的確な支援を行う必要がある。	青少年課

ジュニア・リーダーの発掘・養成					
2 5	子ども会等の行事や活動をサポートする中高生(ジュニア・リーダー)の発掘・養成に努めます。	現在18名が登録している。16回の会議を行い、20の事業に参加した。恒例の野外研修に加え、他市との交流事業も行い、実践的な活動を行うことが出来た。	4	日程の都合等により、地域からの派遣要請にこたえられないケースがある。より多くの人員を育成し、要請に対応できる体制作りを目指す必要がある。	青少年課
青少年相談					
2 5	青少年が直面するあらゆる問題に対し、青少年相談員、青少年心理相談員が対応します。	相談受理状況 ・犯罪触法行為(被害者含む。)0件、ぐ犯・不良行為2件、身上問題174件 計176件 ・被害相談は、主に県少年相談・保護センターで専門の少年相談員が応じています。	4	青少年が直面するあらゆる問題についての相談を受け、発達過程に対応した必要な指導・助言を心がけ、関係機関と連携し、問題の早期発見解決に取り組む必要がある。	青少年課
新生児訪問指導					
2 4	身体的・精神的に不安定な状態にある産婦及び新生児に対し、保健師及び助産師が家庭訪問し、新生児の発育及び育児上必要な事項や日常生活全般の保健指導を行います。	365件	4	すべての母子に対し、適切な時期に支援を行い、不安の解消に努めた。	健康づくり課
乳幼児訪問指導					
2 4	育児支援が必要な親子に対し、保健師が家庭訪問を行い、日常生活全般の保健指導及び栄養指導等を行います。	実人数 233件 延人数 255件 (未熟児は「未熟児訪問指導」に計上)	4	養育困難ケースに関して、係内で支援の方向性等を検討し、適切なアプローチに努めた。今後も適切な時期に支援する。	健康づくり課

妊婦相談					
2 4	身体的・精神的に不安定な妊婦に対し、保健師が電話等で日常生活全般の保健指導を行います。	窓口相談 157 件 電話相談 7 件 地区担当フォロー 57 件	4	母子健康手帳発行妊婦からの相談事項を聞き取り対応する。内容によって地区担当へつなぎ、支援を継続した。	健康づくり課
育児相談					
2 4	市民健康センターを中心に市内5か所で、身体計測と乳幼児期に育児上起こる心配・疑問・問題点に対し相談を受け、母親が自信と主体性を持って育児できるよう支援します。	実施回数 28回 実人数 456人 保健師相談 326人 栄養士相談 351人 歯科相談 141人 来所延人数1116人	4	保護者が気軽に相談できる場として事業を実施した。また、継続支援が必要な場合は健診時や地区担当、事業担当がフォローを行った。	健康づくり課
母親父親教室「ハローベビークラス」					
2 7	妊娠 18～35 週の初妊婦とその夫を対象に 4 日間コースの教室を開催します。妊娠中の生活、歯の話、栄養、お産の流れ、産後の過ごし方、妊婦体操、揺さぶられ症候群、沐浴、妊婦疑似体験等を実施します。教室を通して、友達作りと出産・育児のイメージをもつことを目的としています。	年間 6 コース ＜参加者＞ 妊婦：実人数 120 人 （延べ人数 420 人） 夫：実人数 106 人 （延べ人数 120 人）	4	参加者同士の交流を目的の一つとし、積極的に関わりを促した。また初回のアンケートにて参加者の様子を伺い、必要時地区担当がフォローを行った。	健康づくり課
離乳食教室 ・「赤ちゃん教室」生後5～6か月児 ・「もぐもぐ教室」生後7～8か月児					
2 7	概ね生後 5～8 か月の赤ちゃんを持つ親を対象に、子どもの発達に応じた離乳食のすすめ方や、育て方について、知識と理解を深められるようにします。	赤ちゃん教室 12回 参加人数 児 174人 保護者 182人 もぐもぐ教室 参加人数 児 137人 保護者 140人	4	育児について（特に離乳や授乳に関する内容を中心に）その時期に必要な基礎的知識を得る機会として実施した。試食もあり、実践しやすい内容にした。	健康づくり課

2 歳児歯科健康診査					
2 7	むし歯予防の生活習慣が確立する 2 歳児を対象に健診・教育、予防処置を行い、歯を通して生活を見直す機会とします。	実施回数 12回 対象者数 994人 受診者 859人	4	受診しやすい環境づくりのため、レイアウトを見直し流れをスムーズにした。また、待ち時間を利用し、むし歯予防のための集団指導を実施した。	健康づくり課
親子相談					
2 7	行動発達、言語発達や子どもへのかかわり方について心配のある親子に対し相談を受け、適切な指導を行い親の不安を軽減するとともに子どもの発達を促す助言をします。	年 30 回 実数 49 人 延数 49 人	4	相談日の回数を維持し、タイムリーな相談支援を実施した。また、地区担当や各課の教室、巡回相談などでフォローしている。	健康づくり課
乳幼児フォロー教室 「わくわく教室」(1歳6か月児) 「すくすく教室」(3歳6か月児)					
2 7	親子遊びなどの体験を通して幼児の精神発達に大きな影響を及ぼす親子関係を豊かにし、健全な発達を促す支援をします。	「わくわく教室」 実施回数 21 回 実人数(児 12 人、親 16 人) 延人数(児 55 人、親 61 人) 「すくすく教室」 実施回数 21 回 実人数(児 13 人、親 14 人) 延人数(児 101 人、親 102 人)	4	卒業後の継続支援等を目的とした障がい福祉課との定期的な会議の開催と、地区担当保健師との面接等を行うことにより保護者が安心して地域で育児ができるよう支援をした。	健康づくり課

出生連絡票受理					
2 7	出生状況、里帰りの有無等連絡票にて把握し、新生児訪問や産後うつ病等について説明、紹介します。この連絡票を元に新生児訪問の連絡や相談ありと記載のある時に、電話等にて相談を受けます。	894 件	4	産後の母子の健康状態を把握し、早期に訪問事業につなげる。転入などで提出漏れがないように確認に努めた。	健康づくり課
産婦新生児訪問					
2 7	保健師・助産師が家庭訪問し、子どもの発育状態を観察した上でその母子に合った授乳方法等について支援します。	365 件	4	ほぼすべての母子に対し、適切な時期に支援を行い、不安の解消に努めた。	健康づくり課
未熟児訪問指導					
2 7	出生体重が 2,500g 未満の未熟児及び養育医療申請児に対し、日常生活全般の保育指導及び育児支援を行います。	実人数 90 件 延人数 95 件	4	児の退院や里帰りから戻る時期に合わせて訪問した。引き続き、継続支援が必要な母子を見極め支援する。	健康づくり課
未熟児支援教室					
2 7	出生体重が 2,500g 未満の未熟児及び養育医療申請児、多胎児とその養育者に対し日常生活全般の保育指導及び育児支援を行います。	実人数 34 人 延人数 79 人	4	訪問や郵便、電話で参加を促した。発育発達の経過を観察し、必要時点で 助言することで保護者の不安軽減に努めた。	健康づくり課

乳幼児健康診査					
2 7	<p>4 か月児健康診査…受診者に対し、集団で離乳食開始に向けての話をします。</p> <p>2 歳児歯科健康診査…受診者に対し、集団で飲み物やおやつのとりのとり方が歯に与える影響などを伝え、良い生活習慣が身につくよう支援します。</p> <p>4 か月児、1 歳 6 か月児歯科健康診査、3 歳 6 か月児健康診査…個別栄養相談の機会を設け、子どもの発育、生活習慣、食の自立等個々の家庭に合わせて支援します。</p> <p>8～10 か月児健康診査…個別健診のため、健診票に栄養に関する相談事項が記載されている場合、電話にてフォローを行います。</p>	<p>4 か月児健康診査 実施回数 12 回 集団栄養指導 903 人 個別栄養相談 92 人</p> <p>2 歳児歯科健康診査 実施回数 12 回 個別栄養相談 28 人</p> <p>1 歳 6 か月児歯科健康診査 実施回数 24 回 個別栄養相談 93 人</p> <p>3 歳 6 か月児健康診査 実施回数 12 回 個別栄養相談 72 人</p> <p>8～10 か月児健康診査 電話フォロー 80 人</p>	4	<p>4 か月児健康診査では受診者全員を対象に離乳食開始に向けての集団指導を行い、乳児ボツリヌス症への注意喚起も行った。2 歳児歯科健診の集団指導は飲み物やおやつのとりのとり方が歯に与える影響などを含め、歯科衛生士または保健師が実施した。</p> <p>各健診、必要時個別の栄養相談を実施し、その時期の問題や心配に対して助言を行った。また継続フォローが必要な場合は育児相談等と連携を図り、フォローを行った。</p>	健康づくり課